

【事例 H27-05-02】佐賀県障害福祉課、佐賀県唐津保健福祉事務所

かかりつけ医と精神科医の顔の見える関係づくりに関する取組

うつ病が疑われる患者を、かかりつけ医から精神科医へ紹介し、うつ病患者の早期発見・治療に役立てるとともに、かかりつけ医と精神科医の連携を推進させることを目的に平成 23 年度より佐賀県かかりつけ医・精神科医紹介システム事業を全県下で実施した。更なるかかりつけ医と精神科医の顔の見える関係づくりを促進するために、特に県内でも自殺死亡率が高い唐津地区において様々な取組を行った。

【実施主体】 佐賀県障害福祉課、佐賀県唐津保健福祉事務所

【大綱の分類】 5. 適切な精神科医療を受けられるようにする

【事業予算】 平成 26 年度 1,171 千円（ 211 千円 ）

【利 点】

かかりつけ医と精神科医の連携強化、かかりつけ医の理解促進、システム事業における紹介件数の増加

【実施に至るまで】**【背景・必要性・理由の概要・等】**

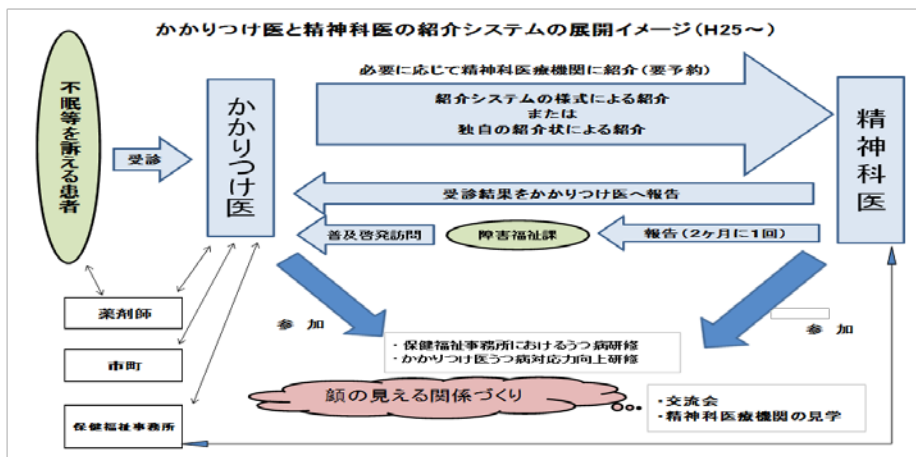
自殺との関連が深いうつ病について、うつ病が疑われる患者を、かかりつけ医から精神科医へ紹介し、うつ病患者の早期発見・治療に役立てるとともに、かかりつけ医と精神科医の連携を推進させることを目的に平成 23 年度より佐賀県かかりつけ医・精神科医紹介システム事業を全県下で実施してきている。

【計画を立てる上での工夫・等】

紹介システム事業については、年 1 回県内各地区の医師会、精神科医療機関、薬剤師会等がメンバーとなり紹介システム事業検討会を開催し、システム事業の見直しや、かかりつけ医と精神科医の顔の見える関係づくりにつながるような事業となるよう検討した。管内精神科医療機関見学では、地区医師会の協力を得て、唐津管内のかかりつけ医に広く周知を行った。また、事前に管内精神科医療機関と打合せを行い、かかりつけ医に各精神科医療機関の特性・特徴を理解していただけるような内容に努めた。

【具体的な内容・実施の過程】

○佐賀県かかりつけ医精神科医紹介システム事業
以下のイメージ図をもとに事業を実施している。



- 唐津地区におけるかかりつけ医を対象とした管内精神科医療機関(4ヶ所)見学会
- かかりつけ医・精神科医紹介システム事業における唐津東松浦地区連絡会議
- かかりつけ医連携推進(自殺対策)研修会

【成果】

紹介システム事業について、徐々に紹介件数が増加した(平成25年度:月平均164件、26年度(26年4～12月末まで):月平均182件)。また、唐津管内において県内で初めてかかりつけ医を対象に実施した管内精神科医療機関見学会では、参加したかかりつけ医から、それぞれの精神科医療機関の特徴を知ることができたり、かかりつけ医からの質問が出る等活発な意見交換ができたり、まさに顔の見える関係づくりとなったと好評を得た。このような取組が、かかりつけ医と精神科医の連携強化、かかりつけ医の理解促進、システム事業における紹介件数の増加に寄与していると考えられる。

【補足】 なし

【課題】

今後の課題としては、紹介システム事業の紹介件数の集計を行っているが、かかりつけ医と精神科医の連携のみでなく、うつ病患者の早期発見・治療につながるよう、紹介から受診にかかった日数と年齢、疾患等との関連など、新たな取組につながるような分析等を行う必要がある。

【事業種別】 人材養成事業

【準備期間・人数】 不明

【予防段階】 2次予防

【自治体規模】 人口 管内128,835人(平成26年)、財政規模:不明

【自治体負担率】

【事業対象】 医師

【支援対象】 地域住民

【実施主体・問合せ先】 佐賀県 障害福祉課

TEL 0952-25-7064

E-mail: shougai-fukushi@saga.lg.jp

【参考資料・文献】 なし

【作成日】 2017年5月12日